

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成28年5月12日

【会社名】 シャープ株式会社

【英訳名】 Sharp Corporation

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 興 三

【本店の所在の場所】 大阪市阿倍野区長池町22番22号

【電話番号】 (06)6621 - 1221(代表)

【事務連絡者氏名】 経理・財務本部 経理部長 青山 孝 次

【最寄りの連絡場所】 大阪市阿倍野区長池町22番22号

【電話番号】 (06)6621 - 1221(代表)

【事務連絡者氏名】 経理・財務本部 経理部長 青山 孝 次

【縦覧に供する場所】 シャープ株式会社東京支社  
(東京都港区芝浦一丁目2番3号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

会計上の見積りの変更によるたな卸資産評価損の計上

### (1) 当該事象の発生日

平成28年5月12日

### (2) 当該事象の内容

当社は従来、ディスプレイデバイスカンパニー及び電子デバイスカンパニーのたな卸資産の評価基準について、取得から一定の期間を超える場合には原則として一定の率に基づき定期的に帳簿価額を切り下げた価額をもって貸借対照表価額としておりましたが、急激な価格下落及びたな卸資産の滞留状況等に鑑み、たな卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、帳簿価額切り下げに係る一定の期間を短縮し、一定の率を引き上げることといたしました。

この結果、たな卸資産評価損を売上原価に追加計上いたしました。

### (3) 当該事象の損益に与える影響額

平成28年3月期第4四半期の連結決算及び個別決算において、47,068百万円を売上原価に計上いたしました。